

○昭和40年9月台風24号などで、甚大な被害が発生した多田川水系では、気候変動による今後の水害リスクの増大に備えて、以下の取組を実施していくことで、年超過確率1/30の規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



### ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、河道拡幅
- ・森林整備
- ・砂防関係施設の整備
- ・田んぼダムの整備
- ・雨水貯留浸透施設の整備 等

### ■ 被害対象を減少させるための対策

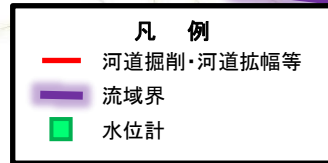
- ・立地適正化計画に基づく防災指針の策定 等

### ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・複数市町を含む流域を捉えた流域タイムラインの作成
- ・想定最大規模の降雨を対象としたハザードマップの周知・活用
- ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
- ・避難行動のための情報発信
- ・重要水防箇所の情報共有と県・市・地元による共同点検の実施
- ・要配慮者利用施設の避難訓練実施と避難確保計画の検証と改善の促進
- ・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
- ・水位計・量水標、監視カメラ設置
- ・地域防災マップの作成支援
- ・地域・企業の連携による避難場所の確保
- ・水防資機材の配備
- ・コミュニティタイムラインの作成支援
- ・ハザードマップ・タイムラインを用いた避難訓練の支援
- ・関係者間の情報共有体制の確立と情報伝達訓練の実施
- ・内水ハザードマップの作成 等

### ● グリーンインフラの取り組み

- ・ゲンジボタル、メダカ等水際の生物多様性を維持 等



- 多田川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
  - 【短期】 多田川の河道掘削・河道拡幅により、河積断面を確保し災害発生を防ぐ。また、地域防災マップの作成や要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施を促進・支援することで、災害時の危険箇所や避難計画を住民に浸透させて被害を軽減する。
  - 【中期・中長期】 流域治水対策効果を確認しながら、流域全体で河川対策，減災対策等を引き続き実施する。あわせて、水位情報の提供や浸水想定区域図，ハザードマップの更新等のソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工 程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぎ・減らすための対策	河川整備（河道掘削・河道拡幅）	福井県	河道掘削・河道拡幅完成(多田川)		
	森林整備	福井県 小浜市 れいなん森林組合 森林整備センター等			
	砂防関係施設の整備	福井県	(検討・調整)		
	雨水貯留浸透施設の整備	小浜市	(検討・調整)		
	田んぼダムの整備	小浜市	(検討・調整)		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく防災指針の策定	小浜市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラ画像，水位情報の提供	福井県			
	防災に関する出前講座	福井県			
	水防資機材の配備	小浜市			
	関係者間の情報共有体制の確立 地域防災マップの作成、要配慮者利用施設の避難訓練実施の支援 ハザードマップ等を用いた避難訓練の支援	小浜市	防災マップ作成完了		
グリーンインフラの取組	ゲンジボタル、メダカ等水際の生物多様性を維持	福井県 小浜市			

■河川整備  
事業費：約20億円※  
対策内容：河道掘削、河道拡幅  
※河川整備計画の残事業費

気候変動を踏まえた更なる対策を推進